

ocean+α

©ocean+α ウェブマガジンの二次配
付および画像・文章の複製、二次使
用を禁じます



Shirasaki Ocean Park

白 崎 海 洋 公 園

バディダイビング & フリーインストラクター応援宣言！



関西一のダイビング総合施設と、
大阪から1時間半という
好アクセスを活かし、
白崎海洋公園が提案するのが、
バディダイビングのススメと
フリーインストラクターの応援。
そんな新スタイルと、
フィールドとなる海の
フォトジェニックシーンを紹介する。

撮影 | 中村圭哉
構成・文 | 寺山英樹
Sponsor | SHIRASAKI OCEAN PARK
Design | ParadiDesign

バディダイビングで
納得いくまで
水中撮影！

海の森を
魚の雲が
覆いつくす。

ワイドレンズを持ったら、

海の中から見上げてみよう。

苦しいくらいの態勢で

ファインダーをのぞくと、

いつもの目線と違う

別世界が広がっている。

バディダイビングで
納得いくまで
水中撮影！

海の 宝石が彩る。

マクロレンズの中を、

自分の好きな色と形で

いっぱいにしてよう。

色と形を探するとき、

いつだって期待を

裏切らないのがウミウシ。

「海の宝石」と呼ばれるゆえんだ。



手すり付きのスロープが設置されているので安心



01



02

もっと手軽に バディダイビングを楽しもう。

白崎海洋公園の応援 その1

気心の知れた仲間と リーズナブルに、 バディダイビングを!

本来、Cカードを取得したということは、「バディダイビングができるスキルをマスター」した証だが、日本ではバディダイビングが可能なポイントが意外と少ないのが現状だ。そこで、“もっと手軽にダイビング”と、白崎海洋公園は、積極的にバディダイバーを受け入れている。

日本屈指のダイビング総合施設を利用すれば、スキルに不安なダイバーはプールで練習ができるうえ、ビーチポイントにはバディダイビング用にガイドロープが設置されているので安心。

さらに、宿泊、器材レンタル、食事まで、すべてが施設内で完結。リーズナブルに手軽に水中を楽しめるバディダイビング。未経験の人は、白崎海洋公園のデビューがオススメだ。

白崎海洋公園では、「ジャクシの浜」(5月1日～10月末)と「タテゴビーチ」(年中)のビーチポイントでバディダイビングが可能。

水深も浅く、迷わないようガイドロープもあるので、生物探し、水中写真、水中浮遊、スキルアップなどなど、目的に合わせて気心の知れた仲間とのんびりじっくり潜ろう!

01. 水中MAPと突き合わせればコース取りもしやすい 02. 水中にはガイドロープが張られ、数字のついたブイも設置。ロープに貼られた色のついたテープで方向がわかる

①近代産業遺産を探索!

かつて、海軍基地であり、コンクリートの採掘場だった時代の名残が水陸で見られ、近代産業遺産に指定されている白崎海洋公園。水中に眠る採掘場の鉄骨は、今ではソフトコーラルが付着、魚が群れている。

歴史と自然の生み出すフォトジェニックなシーンが楽しめる。



01. 岩山の内部は、かつて海軍基地や採掘場になっていたが、今は閉鎖されている
 02. 鉄骨にはソフトコーラルや海藻が付着。水深が浅いので、光を入れたフォトジェニックなシーンが見られる
 03. 岩山から採掘されコンクリートを海へ運ぶための設備が崩れ落ち、海に横たわっている

バディダイビングの楽しみ方@白崎海洋公園

もっと手軽にバディダイビングを楽しもう

②生きもの探しの醍醐味を!

ガイドが、次々に生物を探す姿はまるで魔法。「自分でも探してみたい!」と思ったことのあるダイバーも多いだろう。

なぜ探せるのかといえば、「潜る環境をよく知っていること」と「生物について知っている」から。そのうえで、センターからの最新情報をもとに探すことになる。

今回も、センタースタッフがマップを指さしながら「ジョーフィッシュがこの辺にいます」という場所へ。よ〜く、砂地を見てみると、積まれた小石に縁どられたような穴が……。しばらく、見つめていると、ジョーフィッシュがひょっこり顔を出してくれた。



スナビクニンを見つけよう

岩場からユラユラ揺れるワカメ。その根元の部分はメカブと呼ばれ、ここがスナビクニンの住みか。重なったメカブの隙間を丁寧にのぞいていくと“悪人顔のダンゴウオ”ことスナビクニンがひょっこり顔を出してくれた。



ジョーフィッシュを見つけよう

着底して砂地をじーっと見つめていると、動く気配が……。親指ほどの穴から顔を出すジョーフィッシュだ。一度見つけると、次から格段に見つけやすくなる



③納得いくまで水中写真

一見、地味なビーチポイントだが、エグジツした中村卓哉カメラマンの第一声は「いや～、楽しい海だね」。

水中写真で大切なのは、“何を撮るか”ではなく、“どう撮るか”を信条とする彼からすれば、レアや大きさは関係なくて、その海なりの魅力があるということだ。

白崎は「被写体も豊富だし、じっくり粘って、撮りやすくていいね」という環境なので、撮影の練習をするもよし、作品撮りもするもよし。

ぜひ、カメラを持って、納得いくまで水中撮影を楽しもう！

バディダイビングの楽しみ方⑨白崎海洋公園

もつと手軽にバディダイビングを楽しもう

粘って、決定的な瞬間を狙え！

白崎の海で、中村カメラマンがまず心惹かれた被写体が、ハナハゼとテッコウエビの共生シーン。動きは俊敏で、警戒すると、テッコウエビと共に穴に引っ込んでしまう。常に動いているので一度たりとも同じシーンがなく、粘ってどう切り取るかが勝負。今回も、共生ハゼとハナハゼがそろってこちらを見ているシーンや引っ込み瞬間をとらえた動きのある生態写真など、いろいろパリエーションが撮れた。



引っ込みづらい個体を選び、いろいろなアングルから撮影に挑む。1時間ずっと同じ被写体に没頭できるのもバディダイビングの魅力

いろいろなアングルで撮ってみよう

同じ被写体でも、違うアングルで撮影すると、まったく異なる雰囲気になる。真正面から見ると、人間の顔のパーツと同じような配置でいて、人ではありえない配置でもあるので、なんとなく愛嬌を感じる。また、その魚の特徴的な部分を強調するようなアングルにするのも定石だ。



大切なのは “何を撮るか”より、 どう撮るか

「何を撮るかではなく、どう撮るか」。同じ被写体でも、工夫次第で、まったく印象の異なる写真になる。

絞りやホワイトバランスなど、カメラ自体の設定を変えたり、1本目と2本目でレンズを変えてみたりと、その違いを比較してみよう。マニュアルを試して腕を磨く機会にもしたい。

カメラ任せのオート設定やコンデジでも、構図や被写体のアングルを変えるだけでも新しい発見があるはずだ。さらに、海の生物の“一瞬”を撮るには、粘れる環境が何よりも大事。ひとつの被写体を1本かけて撮ってみるなんてことができるのもバディダイビングならでは。



構図を工夫してフォトジェニックに

普段、あまり注目されないトラギスも、位置、背景の処理など、構図を工夫すればフォトジェニックな一枚に。目の中にライトが当てることにより、表情が出て親近感がわいてくる。



カラーフィルターを試してみる

水中ライト「RGBBlue システム03」のカラーフィルターで撮影してみると、雰囲気が一変。あらかじめ好きな色のカラーフィルターや減光フィルターなど4種のフィルターを取り付けることで、瞬時に光の色や強さを変えることができる。また、光の角度を最小限に絞れるマイクロスマートでは、スポットライトのような演出で被写体を浮かび上がらせることができる。

※「RGBBlue システム03」試用レポート> <https://oceana.ne.jp/photo/67930>



粘って寄る

小さい被写体や動く被写体は、まずはピンントを合わせるのにひと苦労。寄って、粘って、ピンントを合わせて、何とか背景の処理を……。



色・形を切り取る

水中環境や生物の“意味”や“情報”を捨て、色や造形のみを考えて撮ってみるのもオススメ。生物でも、ときに大胆に切り取ってみると、おもしろい絵になる。



ダイビング専用プールだから、講習に最適!



01



02

フリーインストラクターを応援します!!

白崎海洋公園の応援 その2

イントラ資格取りっぱになっていませんか？ フリーのインストラクターをサポート

インストラクターの資格まで取ったものの、活動をしていない人も多いのでは？ ということで、オーシャナでアンケートをしたところ、半数近くが活動していないという結果。

資格を取ることが目的というもありだが、復活したい、活動したいのに、「やり方を忘れてしまった」「環境がない」という人も少なくない。さらに、会社の同僚や家族、恋人、仲間などを気軽に講習できる環境も少ないのが現状だ。

そこで、白崎海洋公園では「もっと気軽にインストラクションできる環境を」ということでフリーインストラクターの応援宣言。

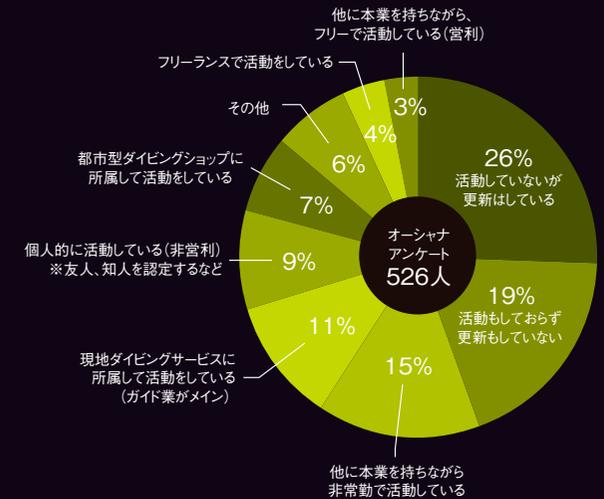
宿泊施設やプールが併設され、好ア

クセスのダイビング総合施設。講習がやりやすいのはもちろん、講習に必要なグッズや教材までがそろっているが嬉しい限り。

せっかくのイントラ資格を眠らせておくのはもったいない。ぜひ、こうした施設を利用してダイビングの魅力を伝えてほしい。

※ここでは、フリーインストラクターとは、ダイビングショップに所属していない、あるいは、本業ではないがインストラクター資格を持つダイバーのことを指しています

01.バックロールの練習もできる 02.海中にはフラフープが設置されている。遊びながら中性浮力をマスターしよう!





日本のエーゲ海
由良町の大自然に
囲まれて。

山に囲まれ人工の光がないので、
夜空は満天の星。
月明かりが石灰岩の
白亜の岩山を照らし、
この世のものとは思えない
妖艶な雰囲気包まれる。



快適なダイビングのために

白崎海洋公園の応援 その3

+ PRACTICE



ダイビング専用プール

深さ1.2m、3m、4mの3段階式の室内温水プール。ビーチエントリー用のスロープやバックロールエントリー用の練習台、水中ミラーなど、スキルアップのための設備が充実。

+ STAY



ログハウス・バンガロー(宿泊)

別荘感覚のログハウス・バンガローは、コンドミニアムタイプで、ダイバー仲間とワイワイ楽しむのに最高の環境。安価でコンテナハウスも施設内にある。

+ SELF DIVING



ビーチポイント

スロープが整備された、水深が浅く穏やかなビーチポイントでパディダイビングに最適。期間限定の「シャクシの浜」だけでなく、通年潜れる「タテゴビーチ」がある。

+ GENERAL FACILITIES



ダイビング総合施設

広大な施設内には、ダイビングに必要なものはすべてそろい、モニターできる器材もスラリ。さらに、ジャグジーや大浴場など、快適に過ごせる設備が整っている。

Shirasaki Ocean Park

楽しさや快適さを追求した、ダイバーのための総合施設を目指して。

+ GOURMET



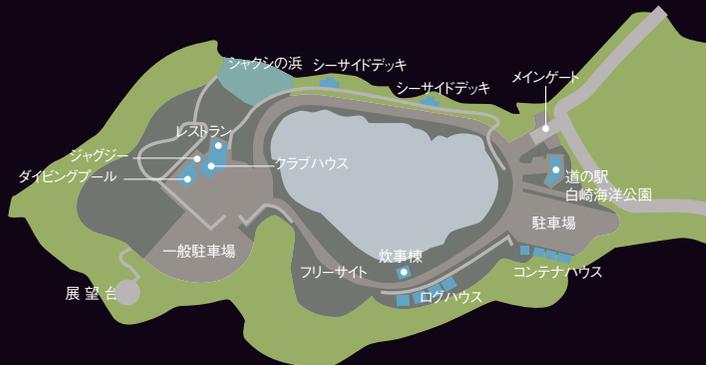
施設内にはグルメも充実、オーシャンビューのレストランのほか、キャンプ場ではハーベキューも可能。食材も道具も現地でそろるので、手ぶらで楽しむことができる。また、園内にある「道の駅」では、由良町のおみやげやグルメがいっぱい。新鮮な「しらす丼」に、名産の天狗しょうゆや天狗ポン酢をかけて食べると絶品!

風光明媚なのどかな由良町。美しい海岸線は、“日本のエーゲ海”と称されている。そんな美しい景観に囲まれ、和歌山県の自然公園にも指定されているのが白崎海洋公園だ。

ダイビングの拠点となる「白崎海洋公園クラブハウス」にはダイビングに必

要な設備はもちろん、プールや大浴場、レストランまで併設されている。

さらに、園内には、アウトドアレジャーを満喫できる「オートキャンプ場」や「ログハウス」、「コンテナハウス」も。泊まって、潜って、遊べるダイビングリゾートだ。



+ DIVING SERVICE



白崎海洋公園

〒649-1123 和歌山県日高郡由良町大引960-1
TEL.0738-65-0125
<http://www.shirasaki.or.jp>